



銀座の言語景観5

日本大学文理学部国文学科
日本語学基礎演習2

- はじめに
- 銀座のファストファッション店における国内ブランドと海外ブランドの差
- 視覚的図形と補助言語の関わり
- 銀座のコンビニエンスストアにおける言語サービスの違い
- デパート・百貨店間における対応言語比較
- 「和」を売り出す店における言語表記
- ホテル階級差にみられるトイレへの案内表示の差異
- 高級ホテルと中価格帯ホテルの言語景観
- 銀座の蕎麦屋における言語景観
- おわりに

 検索

第3章 視覚的図形と補助言語の関わり

3.6. たばこのピクトグラム（徳田萌乃）

続いて、もっとも多く複数の店舗にみられたたばこに関する視覚的図形にふれる。たばこのピクトグラムを使っているのは9店舗ほどあった。JIS規定ピクトグラムを使用しているのは4店舗、JIS規定ピクトグラムに類似しているのは5店舗であった。また8店舗で日本語が中心に使われており、英語が使用されているのは5店舗であった。中国語韓国語は1店舗にとどまった。

まずJIS規定ピクトグラムが図8になる。これらはKOMEHYO、鳩居堂、みずほ銀行、焼肉割烹松坂で。



図8 JIS企画ピクトグラム



図9 焼肉割烹松坂
言語も日英中韓と多く使われている。

また焼肉割烹松坂では、JIS規定の喫煙・禁煙の両方のピクトグラムを用いて、さらに時計のイラストをつけることで分煙を現している。（図9参照）



図10 左から銀座三越、SOCAFÉ、ファミリーマート、NOACAFEの禁煙ピクトグラム

図10はJIS規定類似のピクトグラムである。方向やたばこの形など細かい点が異なるだけで、大きな形としてはたばこのイラストに斜線となっている。これらは、他のピクトグラムとの釣り合いや店舗の雰囲気に合わせているものと思われる。

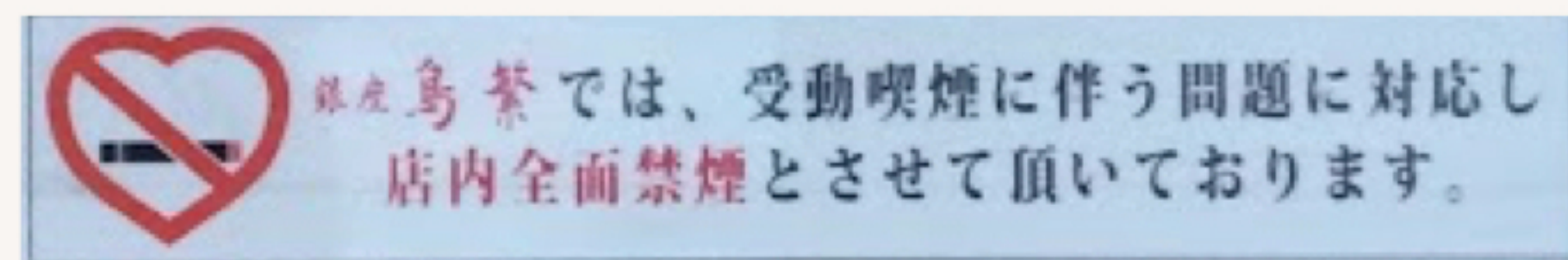


図11 烏繁の禁煙ピクトグラム

店舗の雰囲気とは関係なく心遣いといった意味では、図11のハートマークをあしらった禁煙マークがあった。JISに規定されていない形も様々みられるが、ハートというファンシーなモチーフを扱っているのはこの1店舗のみであった。

以上より、ピクトグラムとして『たばこ』を伝えるのに様々な色や形があることがわかり、視覚的図形の幅の広さを感じた。たばこは世界でも形にそこまで変化はなく、図形をみただけで理解できるということも多く店舗でピクトグラムとして表示されるポイントであると思う。また、世界共通語の英語を使用することでより多くの人に簡単にわかりやすく伝える事を重視していると考えた。

3.1. 目的

3.7. 新しい視覚的記号（遠藤あかり）